

ドローンは 空の産業革命

物流・医療・農業・防災などの分野で活用が期待されている先端技術「ドローン」。みなさんが暮らす社会への普及を図る一歩として体験と学びの場の提供から始めます。



5月31日、田川市民会館でドローンの職員向け講習会を開きました。これは、本市の行政や企業などへのドローン導入や社会実装を目的とした講習会です。ドローン関係事業に携わっている牧武浩さん（有ヒューマック大分社長）を講師に迎え、参加者はドローンに関する法制度を学んだ後に操縦を体験。チーム戦でスピードや正確性を競いながら操縦技術を学びました。参加した廣井友哉主事は「ドローンは老若男女問わず扱える点が良い。被災地や危険家屋の状況確認など、業務での活用に期待できます」と話しました。

今後は、ドローンとはどういうものか、どんなことに注意が必要かなどを、市民のみなさんが体験しながら学べる講座を開催します。開催日や内容など詳しくは9月号でお知らせします。



1,2 操縦しながら離着陸や飛行を練習 3 最新のドローンがずらり 4 顔認証や手の動きを読み取って自動運転をするなど技術進歩が著しい

わが街 Watching

マイボトルを持って出かけよう

ウォータースタンド(株)と連携協定を結ぶ



6月6日、ウォータースタンド株式会社とプラスチックごみ削減の推進に関する協定を締結しました。これは、地球温暖化や海洋プラスチックごみ問題の解決に向けた取り組み。

市内公共施設に無料で給水できるナノスタンド（常温水の給水機）を設置し、マイボトルの利用を促進。プラスチックごみの削減を目指します。

自然の恵みを全身で感じよう

猪位金学園どろリンピック



6月6日、猪位金学園付近の田んぼで「どろリンピック」が催され、同学園の5年生30人が旗取りやボール競技などを楽しみました。この行事は、どろ遊びを通して田んぼに親しむことを目的に、同学園が総合的な学習の一環として実施。豊かな自然を全身で感じた後は、田植えや稲刈りの体験も行い、最後に給食を通して実りを味わいます。

むことを目的に、同学園が総合的な学習の一環として実施。豊かな自然を全身で感じた後は、田植えや稲刈りの体験も行い、最後に給食を通して実りを味わいます。

発行 福岡県田川市 編集 総務部市長公室
電話 0947-442000 FAX 0947-460124

住所 〒825-8501 田川市中央町1番1号
ホームページアドレス https://www.joho.tagawa.fukuoka.jp/

「広報たがわ」に掲載された人には写真を差し上げます
「広報たがわ」の無断転載を禁じます